

令和7年度事業報告

1 友の会通信・会報の発行

- ・友の会会報 73号（令和8年3月31日発行）
- ・友の会のホームページの継続

2 例会・講座等の開催

- ・友の会総会（4月20日（日））
- ・市立函館博物館企画展の見学会（7月20日（日））
企画展「知られざるオホーツク海先史文化紀行」
学芸員と会員との学習会を同日に実施
- ・月例会（ミュージアムサロン）の実施
→昨年度と同様に月一で（第3日曜日・午後1時30分）で「博物館構想」などの話題提供と懇談の場を設定した。
→北海道立函館美術館の特別展の解説をともなう見学会の実施
→見学会の後に懇談会を喫茶店で行った
- ・他の市民団体との共催
→今年度からスタートした「函館アカデミア」に参加し五稜郭の世界遺産構想や新たな博物館構想を他の市民団体と協議している。

3 博物館事業の後援・協力

- ・市立函館博物館での開催の企画展等の後援
- ・旧函館博物館一号館公開のボランティア（5月25日）
- ・五稜郭探求～五稜郭と箱館戦争を検証する～講師担当（田原会長・9月27日）

4 刊行物の頒布等

- ・ガイドブック『函館の文化財』、函館の絵葉書

5 総合博物館将来構想などの研究

- ・上記の「函館アカデミア」の新たな組織において博物館構想を検討した。例会はホームページ上に掲載している。

6 会員数（令和8年3月31日現在） 40会員

- ・一般会員 34名
- ・企業会員 6社

7 その他

- ・新・博物館の市民へのアンケート調査やフォーラムを実施できなかった。
- ・五稜郭の雑木の伐採ボランティアについて友の会の事業に相応しくないのではないかと
の意見もあったので有志による参加にとどめた。
- ・本会の会則についての変更を検討した。